

安全就業だより第234号

安全就業対策委員会

令和2年10月10日発行

当センター内で

刈払機による事故が頻発しています

事故概要

性別	年齢	発生日時	場所	事故状況
男性	75	8月31日 午前中	除草作業 現場	公園を除草作業中、誤って刈払機で石を撥ね、公園向かいの住宅の窓ガラスを破損させた。
男性	80	9月9日 9:30	除草作業 現場	道路脇の緑地帯を除草作業中、誤って刈払機で石を撥ね、向かいの住宅に停めてあった車のフロントガラスを破損させた。
男性	69	9月28日 午前中	除草作業 現場	公園を除草作業中、誤って刈払機で石を撥ね、公園向かいの駐車場に停めてあった車の窓ガラスを破損させた。



慣れた作業にこそ細心の注意を！！

除草作業に限らず、事故はちょっとした油断・慢心から起こります。交通事故を例に挙げると、意外にも急カーブや見通しの悪い道よりも、見通しの良い直線道路など、なぜこんな場所かと思うような場所にこそ危険が潜んでいるのです。

作業が危険な場所では気を配って作業をするため、意外に事故は起こりにくいものですが、簡単で単純な作業の場合、意識していないと気が緩みがちです。

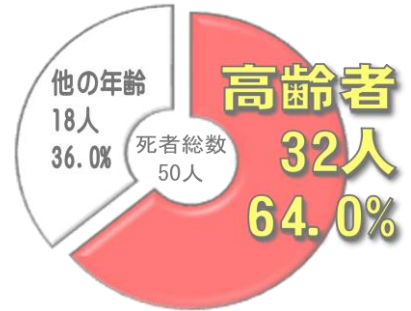
事故は起こした本人のみならず、被害を受けた相手や家族、多くの人に迷惑をかけることになります。

普段から安全意識を持ち、センターの作業でも普段の生活でも事故を起こさないよう安全に心掛けましょう。

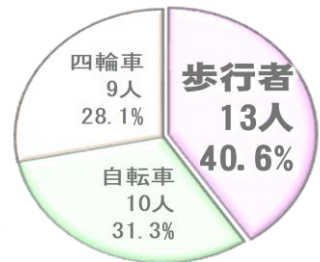
茨城県内の交通事故状況

8月末現在、茨城県内の交通事故死者数

高齢者の死者数が 6割を超え最多



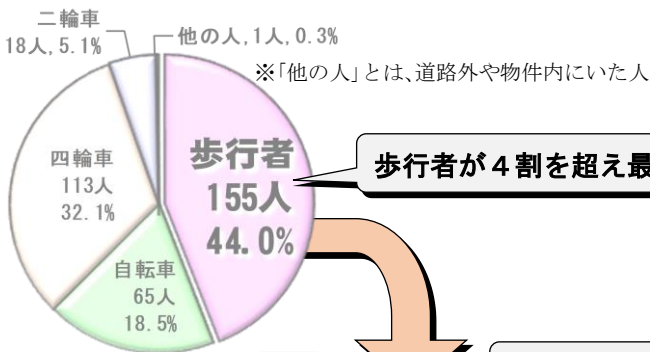
今年8月末現在、茨城県内の交通事故死者数50人のうち、**6割以上に当たる32人が65歳以上の高齢者**でした。
 高齢者の死者数32人の状態別では、歩行者が13人で最も多く、高齢者の約4割を占めています。



高齢者(32人)の状態別死者数 →

過去5年間(平成27年～令和元年)、高齢者の死者数(352人)の特徴

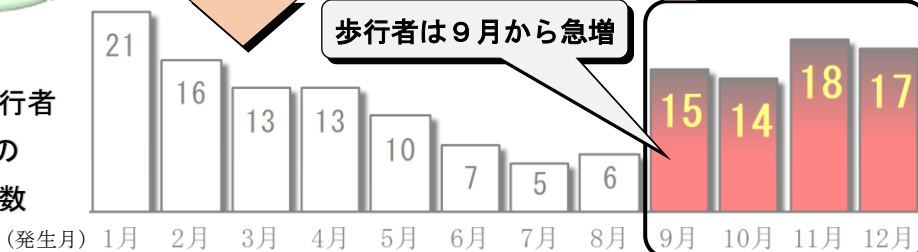
高齢者(352人)の状態別死者数



9月～12月歩行者(64人)の昼夜別死者数



高齢者の歩行者
(155人)の
月別死者数



歩行者が4割を超え最も多い

夜間が8割を超える

歩行者は9月から急増

交通事故の当事者とならないために

- 運転者**
- 夕方や夜間走行中は、歩行者や他の通行車両に自車の接近を気付いてもらうために、**早めのライト点灯**で交通事故を未然に防止しましょう。
 - 夜間、対向車や先行車がない場合は、ライトを上向きに切り替え、歩行者や自転車の早期発見に努めましょう。
 - 歩行者のそばを通るときは、不意の動作等に備え、安全な間隔を取ったり、徐行するなど、**思いやりのある運転**を心がけましょう。

- 歩行者**
- 夕方や夜間外出するときは、反射材を活用し、視認性の高い白色系の服を着るなど、車の運転者に**自分の存在を知らせる**工夫をしましょう。
 - 道路を横断するときは、必ず止まって左右の安全を確認しましょう。
 - 横断歩道がある場所の付近では、少し遠回りでも横断歩道を利用しましょう。